



▲都野保育所運動会

■目 次

平成25年度補正予算可決	2
7月臨時会・9月定例会の議決結果	3
市政を問う・一般質問	4~9
各常任委員会の行政視察報告	10~11
県体報告(議員・教委陸上、議員ソフト)	12

9月定例会

1 1.7億円の補正予算可決 ～予算総額224.5億円に～



平成25年第3回定例会は、9月5日から26日までの22日間を会期として開かれました。この定例会では、初日に16案件、最終日に12案件の議案等が提出され、条例の制定・一部改正、補正予算、決算認定等のほか、請願・陳情、意見書案など35案件について審議を行い、それぞれ別記のとおり決定しました。

平成25年度竹田市一般会計補正予算
(第4号)については、歳入歳出とともに11億
7,085万6千円の増額で、予算総額22
4億5285万円となつた。

草地畜産基盤整備事業費負担金632万7千円、流木被害緊急整備工事費604万6千円等を増額計上。商工費では、地域商品券補助金20000万円等を増

補正予算の歳出の主な内容は、総務費では、フェアツーリズム国際大会補助金100万円、本庁舎空調設備設計監理委託料

額計上。土木費では、災害防除事業費16300万円等を減額計上し、道路維持費2600万円、市道新設改良費4381

281万2千円、平成24年度決算剩余金処理に伴う財政調整基金積立金2億円、直入

万6千円、小規模住宅地区改良事業費1984万3千円等をそれぞれ増額計上。

減債基金積立金2億2000万円直入
莊大規模改修のための公共施設建設基

消防費では、ヘリポート整備事業費180万円、消防庁舎建設に伴う仮設車庫設置

金積立金3億50000万円、統合した自治会の集会所施設整備補助金100万

工事費534万4千円 屋上ソーラーパネル設置工事費3000万円等をそれぞれ

円等をそれぞれ増額計上。民生費では、障害福祉費3869万5千円、竹田地域

増額計上。災害復旧費では、玉来分館施設災害復旧費1255万円を増額計上。

コミニティーセンター基本計画策定等委託料300万円、直入コミニティーセンタ

公債費では、繰上げ償還のための経費1億2986万8千円を増額計上した。

一改修工事設計監理等委託料267万6千円、ひとり親家庭医療費助成金456

一方、歳入では、他の歳入の増などにより基金繰入金1億7397万9千円を減

万4千円、生活保護費国庫負担金等返納
金1644万8千円等をそれぞれ増額計

額、額確定に伴う平成25年度普通交付税

上。衛生費では、未熟児医療費助成金648万円等を増額。農林水産業費では、

5千円等を増額計上した。

議決結果

平成25年 第3回臨時会・第3回定例会

議案・請願・陳情・意見書案等の議決結果

※議長は表決に参加しないため、表決結果は空欄

表の見方・・・○：賛成、●：反対、ー：欠席もしくは棄権
全会一致：出席議員全員賛成により可決

③ たけた市議会だより 平成25(2013).11.1



9月11日・12日、7人の議員が一般質問を行いましたので、その内容を要約してお知らせします。

なお、原稿は質問議員本人が執筆しています。

阿部 雅彦



**歴史的風致維持向上計画認定
に向けた取組について**

問 計画策定の取組状況と岡城歴史まちづくりの会との連携は。

文化財課長 既に国のヒアリングや現地調査を受けている。今以上に民間と連携をし、来年3月までには計画書の策定作業を終了させたい。そして、4月以降の認定を目指したい。

問 世界農業遺産認定に向けた挑戦をしてみてはどうつか。

農林整備課長 円形分水や水路等

の取水構造物を生かした農業システムを中心に、既に認定されている阿蘇地域と久住地域との連携も視野に入れて、対応を検討していきたい。



▲維持したい歴史的風致の例「夏越祭りでの神輿御神幸」

問 世界（日本）ジオパーク認定に向けた取組状況は。

企画情報課長 近隣の市や市民グループの皆さんと連携しながら、ジオパーク認定に向けた具体的なプロセスを検討していきたい。

問 ジオパークと農業遺産に関する市長の見解は。

市長 今年度中には、東京大学景観研究室と竹田市との研究の集大成

*ジオパーク：貴重な地質遺産（地層、岩石、地形、火山、断層など）を主な見所とする自然の中の公園。

として、竹田市コミュニケーション構想の中に、ジオパーク及び農業遺産の構想を樹立させたい。今後の取組の羅針盤となり得るようしていくので、期待していただきたい。

吉竹 悟



竹田市文化会館再建の道筋について

市民の意見をどのような形で反映させ、再建のスケジュールをどの時期に示すのか。

生涯学習課長 TOP懇談会や市民アンケート等における市民の意見を精査したい。そして、本年11月にシンポジウムを開催し、年内には具体的な方向を決定したい。

空き家対策について

空き家対策の現状と今後の方針は。

竹田市における空き家の実態調査については、自治会にもお願いして進めている。その結果を受け、対策を考えたい。

総務課長

岡城跡の周辺民有地・山林等の公有化はどの程度進んでいるのか。

岡城跡の観光資源としての利活用について、ガイダンスセンターの今後の展開は

問 岡城跡と城下町をリンクした早急な対策や登城方法、及びガイダンスセンターの役割や見せ方の総合的な計画が必要とした協議及び整備の進捗状況は。

文化財課長 岡城跡の整備は、国及び県の指導を受け、家老屋敷跡の覚

遺構や石垣の整備が本年度でほぼ終了することから、総合的な史跡内の公開活用に向け事業推進していく。整備、活用を図るため、岡城跡公園活用検討委員会を設置し検討を行なう。

空き家対策について

空き家対策の現状と今後の方針は。

総務課長

竹田市における空き家の実態調査については、自治会にもお願いして進めている。その結果を受け、対策を考えたい。



▲大規模改修が予定されている直入荘

国民宿舎直入荘について

問 直入荘が国民宿舎として存続するためには、現状の宿舎建屋はどのように改修する計画か。直入荘は収益事業であるが、今回基金として積み立てた3億5000万円の資金の運用方法は。また、計画から実施計画へと、どの時期に具体化され

問 直入荘が国民宿舎として存続するためには、現状の宿舎建屋はどのように改修する計画か。直入荘は

収益事業であるが、今回基金として積み立てた3億5000万円の資金の運用方法は。また、計画から実

施計画へと、どの時期に具体化され

想を練り上げてきた。

今回、経営分析と設計の構想についての概略が打ち出された。資金としては、3億5000万円あればリユース・改装ができるということが明確となつた。余剰金を後世へ利益を生み出す戦略に打ち込むため、国民宿舎直入荘再生の基金として、今議会に提案した。この基金を直入荘特別会計へ一般会計から繰出していく手法を取りたいと考える。できれば26年度中、少なくとも27年度初期にリニューアルオープンができる

リニューアルオープンするのか。

市長 国民宿舎の再生は、マニアエス

トに掲げた約束である。築後37年が経過しているが、幸いに建物は頑強であると診断されたので、もう一度再生を見極めを誤れば致命傷になると考え、これまで設計会社による構想計画、コンサルによる経営分析については、200万円を超える予算で構

想を練り上げてきた。

今回、経営分析と設計の構想についての概略が打ち出された。資金としては、3億5000万円あればリユース・改装ができるということが明確となつた。余剰金を後世へ利益を生み出す戦略に打ち込むため、国民宿舎直入荘再生の基金として、今議会に提案した。この基金を直入荘特別会計へ一般会計から繰出していく手法を取りたいと考える。できれば26年度中、少なくとも27年度初期にリニューアルオープンができる

その他、竹田市における生活保護の現状・まちなか賑わい創出・駅前再開発について質問した。

岩屋 千利



便等により、利用者の利便性のより高い効率的な運行形態は。

企画情報課長

当該バス路線は久

広域農業開発事業の経過と今後の取組について

各農事組合法人の現状と今後の方向性について市の考え方。

畜産振興室長

田地域を国の4大食糧生産基地として位置付け、肉用牛を中心とした畜産振興と道路網の整備を進めてきた。結果として畜産振興等で大きな成果を得たものの30年が経過した今日、各法人とも高齢化や後継者不足等から牧野としての維持管理に苦慮しており、今後関係者と協議を重ね貴重な資産の有効活用に鋭意努力していく。

ミニヨンティバス大分線について

現在運行している久住・大分間のバス路線の乗降制限の撤廃や増

こども診療所の現状とその対策について

企画情報課長

住や直入地域の方の通院や買い物等の移動手段、長湯温泉や久住高原等への観光ルートとして重要な役割を果たしているが、同路線の内、向の原から大分駅の間は既存の民間バス会社の営業区間で、当時の話し合いでは便数や停留所の場所等で制約を受け現在に至っている。しかしながら

今後とも関係者との協議を重ね、停留所の増設や運行路線、運行時間の改善を通してより利便性、効率性の高いものとなるよう努力をしていく。

公共施設等の有効活用について

竹田市の大学連携事業について

佐藤 美樹



農村回帰政策について

城下町交流館「集」の運営状況について。

企画情報課長

5月の開館から85名の移住相談実績があつた。2名の嘱託職員を配置している。

市経済活性化促進協議会との事業連携は。

企画情報課長

19名の集落支援員を委嘱。自治会の顔合わせや地区行事の情報提供等、移住者が早く地域

に馴染めるよう環境づくりを担つている。その他、空き家情報の収集、市単独小規模集落対策事業、当該自治会の把握を行う。経済活性化促



▲東京大学による城下町研究報告会(下本町)

進協議会が開催する企業面接会情報を、市の定住支援サイト等に掲載している。

問 アートレジデンス構想とは。

市長 芸術家を一定期間、町に住ませて制作活動の拠点にすること。情報をきちんと出し、移住政策へつなげたい。

問 竹田にしかないサフランや紫栽培の後継者として新規就農者を呼び込んで。

企画情報課長 単独栽培では収益性が乏しいので、他の有望作物生産や集団栽培等を含め検討したい。

竹田市総合まちづくりセンターにニュータウン構想について

問 まちづくりセンターの取組について。

副市長 新図書館やコミュニティーセンターの整備、文化会館の復興が主な事業。それぞれの施設の基本構想を策定する上で、市民と意見交換を重ねることが大事だと考えている。

徳永 信一



ニュータウン構想について

問 ニュータウン構想の具体的な内容は。

市長 鏡IC開通後のストロー化対策として、市内に家を建てる優位性を打ち出す。安い地価を提案し、竹田産材使用時の補助制度、借入制度を金融機関と企画し、定住につなげたい。

の二重投資となり行わないとしてきたが、施設園芸を行う関係農家の要望が多いため、市長の指示により、国・県と調整し、平成23年1月より取り組んでいる。

非常備消防(消防団)について

問 消防の操法大会の開催時期や訓練方法の見直しが必要ではないか。

消防署長 県大会に向けた日程調整、訓練方法及び操作員の士気高揚を考え調整をしているが、今後農繁期等を考慮しながら開催時期や選考方法、訓練方法等の取組について、消防団幹部と協議し、訓練効果を上げつつ、団員の負担軽減を図る。

問 第3回の計画変更となり、受益者の同意が必要となるが、熊本県側を含めた対応は。

農林整備課長 第2回の計画変更の資料を基に、受益地の農地の確認作業を行っている。改良区や水利組合、個人農家は自治会ごとに説明会を開催する。熊本県側との対応は、両県幹事会等を開催し、事務局レベル

大蘇ダムについて

問 市の負担金約27億9000万円の過疎債の时限を踏まえた支払方法は。

市長 特別交付税による追加負担の軽減、国の直轄による維持管理、過疎債の適用について国へお願いしている。市としても今回2億2000万円の減債基金の積立をする。今後も状勢を見ながら、国へ働きかける。

問 水田畑かん事業への取組の経緯は。

農林整備課長 畝間かんがい方式により用水計画や施設計画を策定していることと、圃場整備事業など



▲大蘇ダム早期完成を農林水産大臣に要望

山村英治



災害の検証について

問 竹田市に対して水害り災者の会から、これまでの検証事項と今後の対策を市民に分かりやすく具体的に説明してほしい、また、未検証地域の検証をしてほしいと、陳情書が出ている。同会では①九州電力竹田調整池堰の超過洪水量対策の説明、②災害発生時の水門操作の時刻とその放水量、③警戒体制時全放水動画の提示、④調整池堰竣工時と現在の溜池堆砂図の提示、⑤今後の流木対策の周知など、検証会を継続して、さらに災害原因を究明していくことを望んでいる。市の対応はどうか。

総務課長 これまでの検証会では、専門的見地から原因究明を行い、河川改修、阿藏新橋撤去等方策は出されたと考えている。検証会に区切りをつけて、早ければ今月中に市民

国営・県営事業の同意取得について

問 菅生地区の土地改良借入金連
帯保証問題や水田畠かんがい負担
の問題、これまで用水の恩恵を全く
受けていらない方々から同意をいた
だくのは難しい。荻と菅生で受益者
大会を開催して、竹田市が農業政策
に踏み込んで取り組む熱意を伝え、
農家の声を聞いていただきたい。

農林整備課長 受益者農家に対し
て事業を説明する一案として検討す
る。

椎茸の価格対策について



渡辺
克己

これまでどのよつな対策を講じてきたか。

林業振興室長 市単独の種駒への助成、県事業による栽培用ハウス等低コスト化への取組を行つた。

林業振興室長

林業振興室長 消費キヤンペーン等

問 平成22年以降、下落し低価格で推移してくる。この現状をどのように捉えてくるのか。

林業振興室長 福島県での原発事故、豊作による供給過剰、消費者の乾椎茸離れによる消費の低迷が原因である。

農業・農村所得倍増10力年戦略の取組について



▲7.12豪雨災害現場検証(阿藏)

文化会館の早期復旧について

一般質問

- 問　当初の説明では災害復旧事業費9億円で、国補助が3分の2あり、新築しても充当できるとなつた。今後の復旧計画については。
- 生涯学習課長　前提条件は「現施設の復旧」か、「新築」かである。年内に決定し査定は26年度、復旧する場合申請事業費は中央公民館・体育センター・文化会館で7億7600万円である。
- 問　TOP懇談会資料では国費は2億3000万円で事業費にすれば3億5000万円である。その差は何か。
- 生涯学習課長　査定後の確定した事業費である。
- 問　移転新築の工期はどうか。
- 生涯学習課長　本体工事は27年度（28年度となる）。
- 問　この工期で国費の支払い対象事業となるのか。
- 生涯学習課長　実施に対する期限はないので支払われる。
- 問　復旧と同時期の28年から交付税の算定替えが始まる。27年度を基準年として期間5年間でいくら

減額となるのか。

財政課長　期間内で44億3000万円の減額となる。



▲高品質を目指した椎茸選別講習会の様子

- 問　5回の検証会議により防災効果のある復旧がなされ、それに阿賀新橋の撤去、文化会館と同地区に被災市民を対象に市営住宅（6戸）も建設される。再被災を回避する移転新築が必要か。
- 市長　財政状況と充当できる国費を検討するが、①現在地での災害復旧、②現在地での移転新築、③新規場所への移転新築、④取り壊し撤去の4案で議論をしていきたい。



▲昨年の意見交換会の様子

『市民との意見交換会』を開催します

多数の皆様のご参加をお待ちしています！

期日■11月11日(月)・12日(火)・13日(水)
時間■午後7時～8時30分

開催日時	会 場	対象地域
11月11日(月) 午後7時～8時30分	総合社会福祉センター	竹田東部 (竹田、岡本、明治、豊岡)
	菅生農村環境改善センター	竹田西部 (玉来、松本、菅生)
	宮城分館	竹田北部 (宮城、城原)
11月12日(火) 午後7時～8時30分	荻公民館	荻地域
	久住公民館	久住地域
	直入支所大会議室	直入地域
11月13日(水) 午後7時～8時30分	宮砥分館	竹田南部 (入田、嫗岳、宮砥)

【内容】

- ◎議会からの報告
 - ・議会の概要と役割について
 - ・平成25年度9月補正後の予算の概要について
 - ・議会改革の取組状況について
 - ・災害復旧の状況について

－質疑応答－

◎市議会及び市政に関する意見交換

お問合せ■竹田市議会事務局 庶務係 63-4813

社会文教常任委員会行政視察報告

委員長 阿 部 雅 彦

今回の行政視察は、福島県会津若松市・宮城県白石市と仙台市を訪問し研修を行った。以下、研修内容と感想について報告する。

まず、会津若松市では、NHK大河ドラマ「八重の桜」で注目を集める「鶴ヶ城の保存整備と活用」について

研修した。城の再建事業に関しては、文化庁との協議が大変だったようだが、行政や議会の中でも激しい論争の末に予算化をしている。また、



▲保存整備・活用の説明を受けた鶴ヶ城(福島県会津若松市)

市民が城と思う気持ちは大変深いものがあり、市民生活が城を中心回っていると言つても過言ではない。竹田市の岡城についても、今以上に市民の皆さんから愛され、親しまれる性を強く感じた。

次に、白石市では、「高齢者支援と子育て支援における地域の取組」について研修した。白石市は、東日本大震災において津波の被害はなかったものの、大きな被害を受けた地域である。この研修で一番に感じたことは、今、竹田市で取り組まれている「暮らしのサポートセンター」のように、日頃から「向こう三軒両隣り」の精神でもって、高齢者や子育て世代を支える仕組づくりの強化である。災害発生のいざという時に、命を救える体制づくりを目指さねばならないと感じた。

総務常任委員会行政視察報告

委員長 岩 屋 千 利

では、「官民による音楽のまちづくり」について研修した。東日本大震災復興中の仙台市では、沿岸部の宅地、農地や青葉城の石垣の修復等はこれからだが、音楽の力を活かして安らぎを与え、夢と希望を持つ、力強く生き抜くための被災者支援の取組は参考になった。「楽都仙台」をキヤツチフレーズに、市民団体も多く

市においては、文化会館の再建を市民の皆さんと真剣に考え、音楽を通じた新たなまちづくりに挑戦したいものである。

去る10月1日から3日まで、福島県白河市、山形県の新庄市、天童市において行政視察研修を行った。

白河市では、防災や危機管理体制の研修をした。白河市は災害に強いまちづくりを目指し、自治基本条例

に危機管理の項目を設けその概念として、「自助」自發的な行動による迅速な災害対策、「共助」市民や関係団体との相互支援体制の確立、「公助」あらゆる災害に備えてブラインド型（事前に訓練の内容を知らせない）訓練の実施等を挙げている。そ

の音楽活動を開催している。また、仙台フィルハーモニー管弦楽団は、その中心的役割を担っている。ぜひ、竹田市の演奏会を期待したい。わが竹田市においては、文化会館の再建を市民の皆さんと真剣に考え、音楽を通じた新たなまちづくりに挑戦したいものである。

新庄市では空き家の適正管理についての研修で、同市は空き家等の適正管理に関する条例を設け、必要な対策を取ってきた。竹田市の農村回帰の取組や空き家バンクの取組と連動させた空き家の有効活用の施策とは異なり、冬季の雪害等の防災対

策に重きを置いた取組となつてゐる。しかしながら条例の整備等により、市民の空き家管理責任等に対する意識が高まつたことは事実であり、今後有効活用に向けた取組にも期待が持てる。

天童市

天童市では、総務省の財務諸表の公表要請に呼応、平成19年度の決算から基準モデル方式による財務諸表を作成している。従来の公会計は、単年度の收支を中心とした現金主義で資産や負債に関する情報が見えにくい欠点があることから、これの補完的な措置としての新たな取組であるが、その事務処理には多くの時間や経費を要したことのこと。さらに成果物である財務諸表の利活用の質問に対しても、決算時の資産等の把握



▲東日本大震災で被災した小峰城現地説明(福島県白河市)

産業建設常任委員会行政視察報告

委員長 徳永信二

9月30日から10月2日にかけ、産業建設常任委員会の行政視察を、新潟県十日町市、南魚沼市、新発田市において行つた。



▲中心市街地・駅前通りを背に(新潟県十日町市)

9月30日から10月2日にかけ、産業建設常任委員会の行政視察を、新潟県十日町市、南魚沼市、新発田市において行つた。

まず、新潟県十日町市では、中心市街地の活性化推進策について研修した。『新たな賑わい』に満ちた『魅力あるまち』の創造をテーマに次の三つ

握は容易になつたが、予算や決算事務等の行程で財務諸表を有効に活用するまでには至つていないこと。今回の3市における研修事案は竹田市にも共通の課題であり、成果を今後の議会活動に活かしていきたい。

の柱で事業を進めている。①【暮らす人を増やす】居住重点地区を作り、周辺の高齢者やIターン、Uターンなどの居住促進を行う。②【訪れる人を増やす】老人のデイサービスや子育て支援などの施設整備をし、市民交流センターや病院なども改築をし、駐車場も訪れる人のため整備する。③【活動する人を増やす】公民館や文化会館の整備、市民によるまちづくり活動の活性化を図る。また、総延長約3.6キロのアーケードを活用した健康づくりの推進等、多種多様の事業に取り組んでいた。この十日町市の中心市街地活性化基本計画は、平成22年9月に策定してから2年9カ月を要したが、内閣総理大臣から平成25年6月28日に認定されてい る。十日町市長は『今何もしなければ、いずれ全国にあるシャッター街化している中心市街地と同じになってしまう。中心市街地に賑わいを取り戻すチャンスは今しかない』という強い思いで取り組んできたそうだ。『市民が暮らし、市民が訪れ、市民が活動する町』を創ることを目標に掲げていた。竹田市の中心市街地の活性化に向け、十日町市に学ぶところは、

最

後に、新潟県新発田市において、地産地消推進事業『食の循環によるまちづくり』を研修した。

今回の産業建設常任委員会の視察研修は、改選後初めての研修であり、緊張の中、多くの質問もあり、各市の取組について充実した研修であった。委員それぞれが考え、竹田市の発展につなげてほしい。

反映していきたいと思う。

次に、新潟県南魚沼市において、鳥獣被害対策について研修した。行政と地域住民が一体となつた取組の説明を受けたが、今後の竹田市の方策に生かしたいと思う。

県体報告(議員・教委陸上、議員ソフトボール)

第66回県民体育大会が9月7日～9日にかけて豊肥ブロックを主会場として行われました。竹田市議会も議員・教委陸上(竹田市・竹田市陸上競技場)と議員ソフトボール(別府市・野口原ソフトボール場)に参加しましたので報告します。

議員・教委陸上

天候不順で練習調整もままならぬ。ぶつつけ本番のような今年の議員・教委陸上であった。

メイン競技の400メートルリレーでは心配していた故障者が出了。2番走者が大腿筋の肉離れを起し、あわやのリタイアか。しかし、そこは彼持ち前のガッツ力。痛みをこらえながらの力走、見事に3番走者へバトンを渡し、8チーム中7位の成績でゴールイン。感動した。わすが竹田市議会の陸上チームだ。

監督 坂梨宏之進



議員ソフトボール

天候に恵まれず極めて練習量の少ない中、また、故障者続出の大会であった。

決戦は野口原ソフトボール場Aコート、対戦は臼杵市。過去2度の監督経験の中で守備配置、打順にこれ程悩んだ年はない。リードし逆転され再度リードしたが…。最終回1点差をひっくり返す力はもうなかつた。

来年こそと、全ての選手が思つたはずである。悔しい!

監督 吉竹 悟



あとがき

総務常任委員会の研修で、東北地方に行つた。研修はむわん、今日、東北地方の交通網の発達には驚いた。30年ほど前私がまだ東京にいた頃とはずいぶん違つ。

今は、新幹線で東京駅を出発し(上野駅ではない)、福島までは約2時間、山形まで3時間。しかも仙台をはじめ主要都市に新幹線網が走つている。地図を見ると高速道路網もかなり進んでる。

東北地方といつと雪が深く、冬の間春をじつと待つといつ印象が強かつたが、今はとてもそんなイメージはない。地域の発展、特に経済的な発展には、道路をはじめ交通網の整備は欠くことがないのだわいか。

編集委員 鶴司 英彰

市議会

ホームページ

本会議の会議録や
議会の日程、質問
項目、議会のしくみ
と役割など様々な
情報を掲載してい
ます。



竹田市議会で検索 <http://www.city.taketa.oita.jp/gikai/>